

地域の魅力確立委員会計画

委員長 平林 健恒
副委員長 杉田 徳孝
幹事 川原 正嗣

【基本方針】

全国的に地方のまちは郊外化や画一化が進み、その地域ならではの豊かな地域コミュニティに支えられた心地よい暮らしは失われつつあります。そのために人と人とのつながりが希薄になり、その結果、地域への愛着や誇りが薄れています。一方で、私たちのまち上越市は、文化や風土に育まれた豊かな情景に恵まれています。この豊かな情景を基軸に人と人とのつながりある心地よい暮らしを提案し、地域に対する愛着を喚起することで、自分が住む地域への自負心・誇り、すなわち「暮らしブランド」を確立する必要があります。

「暮らしブランド」とは、「地域の人が自分の住む地域に対しての愛着・自負心・誇りを持つ」という心情を意味します。その確立に向けて、まずは、他地域の先進事例を発信して、「上越らしい情景を活かした暮らしが、精神的な豊かさに結びつき、郷土への愛着へ昇華する」ことを周知し、同時にまちづくりに対する当事者意識を持つ契機とします。また、活動場所を定め、我々が考えるビジョンを示すことでより多くの賛同者を募ります。次に、意識を共有した団体や住民と協議を行いながら、我々が先頭に立って情景を活用した「心地よい場所の創出活動」を行います。ここでは、住民自らが創出活動に携わることで当事者意識を抱かせ「地域の自慢できる場所」という、より強い愛着や誇りの意識へ導きます。そして、身近な情景を、人々が集い楽しめる空間へと進化させることで、より多くの地域住民同士の交流に繋がります。更には、これまでの活動をより広く発信するとともに、地域への愛着を生み出す心地よい場所を創出する意義を伝播し、より多くの住民への運動の波及を目指します。これらの段階的な活動を通して、地域住民が主体的かつ継続的に情景を活用し、「暮らしブランド」を醸成し続けるための仕組みを構築します。

情景を活かした心地よい場所で人と人が触れ合うことで、地域への思いを愛着や誇りへと昇華させます。そして活動を広め続けることで、色々な地域に「暮らしブランド」が確立していきます。これにより、地域全体の「住みたい価値」の向上に繋がっていきます。我々は、地域の明るい未来に繋がると確信をし、この運動に邁進致します。

委員会職務分掌＜事業内容＞

1. 住民に情景を活用することの意味を発信する事業の実施
2. 地域の情景を活用して心地よい場所を創出する事業の実施
3. 9月担当例会の開催
4. 地域住民による主体的、継続的な情景活用の仕組みの構築
5. はすまつり（オクトーバー・フェスト）への参画